

令和7年度第3回釜石市子ども・子育て会議開催結果（概要）

1. 日 時 令和8年2月18日（水）10：00～11：15
2. 開催場所 上中島児童館 集会室
3. 出席者等 <出席委員13人>
佐々木恭委員、木村仁寿委員、柳下宏平委員
小松美香委員、海藤祐子委員、菊池佳子委員、佐々木啓子委員、
佐々木晴美委員、菊池利行委員、高橋瑞恵委員、福成菜穂子委員、
元持有紀委員、中村ひろみ委員
<市側出席者>
釜石市保健福祉部長 鈴木伸二
釜石市保健福祉部次長兼こども家庭課長兼こども家庭センター長 村山明子
こども家庭課 主幹 前川奈津江
こども家庭センター長補佐 山根美保子
子育て支援係長 芳賀沙織
子育て支援係主事 阿部志野
4. 傍聴者 0人
5. 結 果（○…委員発言内容 ●…事務局発言内容）
 - (1) 委員長及び副委員長の選任について
特になし
 - (2) 特定教育・保育施設の利用定員変更について
特になし
 - (3) 乳幼児通園支援事業の設置認可について
○事業を行う上で指導監査を行っているとのことですが、誰が主体となって、どのような点を監査しているのか教えてください。
2つ目の質問です。今回、職員体制が調わず、実施施設が4か所から2か所に変わったということですが、どういうことでそのような判断になったのか教えてください
●指導監査につきましては、乳幼児通園支援事業の指導監査ということではなく、小規模保育事業所の指導監査となります。保護者にきちんと保育計画を説明しているか、安全計画を立てているか、面積が利用定員に適合しているか等について監査します。主体はこども家庭課です。
2点目の質問についてです。職員体制が調わないという点について実施を予定していた園に聞き取りをしたところ、退職する予定の先生がいる、異動がまだ確定していないため4月からの開始は難しいとの回答をいただいたところです。
○4施設での実施を予定していたものが2施設での実施になったことで、予定をしていた受入れ人数の変更等はあるのでしょうか。

- 子ども・子育て支援事業計画に定めた計画値について、1歳児と2歳児の確保の内容は達成していますが、0歳児の確保の内容が若干少なくなっています。園の職員体制が調わない状態での実施は難しいですが、令和8年度中に計画値に近づけられるように調整していきたいと思います。
- ニーズがあるのに応えられないというのは残念なので、そのところは上手くやって欲しいと思います。
- 4月から2か所で実施するという認識でよろしいでしょうか。子育てをがんばっているお母さん達にとってはとても良い制度だと思います。1時間に限らず、「今日は3時間利用したい」等も対応できるのであれば、普段子どもと二人でいるお母さん達にとっては、生活の中にどんどん取り入れてほしい制度だと思いますので、PRもがんばっていただければと思います。

(4) 室内の遊び場整備事業について

- 管理人等の配置を行えない理由を教えてください。

また、前回会議のときに、「3人子育てしています。幼児と小学校低学年と高学年がいます。みんなで遊びに行ったときに、高学年の子をどうしますか」という質問があったと思います。椅子を用意した見守りコーナーがあるのであれば、このような高学年の子ども向けに図書館等から定期的に本を借りて、「ここでお兄ちゃんお姉ちゃん待っていてね」というような配慮ができれば良いと思いました。
- 予算の関係で人を配置するというのは難しい状況です。ただ、安全を担保するために何が重要かという事は課題として認識しております。そこで、イオンタウンさんに1日3回程度の警備巡回をお願いし、遊び場内に監視カメラを配置することとしております。また、イオンタウンさんと連携しながら何かあった場合に市へ連絡をいただけるような仕組みづくりを今構築させていただいているところです。
- 将来的に予算が確保できて「やはり職員を置いた方が良いのではないか」という問題等が出てきた場合は、臨機応変に対応していただきたいと思います。

イオンタウンの中に毎朝お母さんが置いて行って、夕方迎えに来る不登校のお子さんを、イオンタウンさんは何年も見守ってくれています。周りの店舗の方も、職員の方も見守り体制を取ってくれています。そういう部分でもイオンタウンさんを信頼してお願いするのは良いと思います。

ただ、幼児から小学校低学年まで、一気にお休みの日に利用したときに、親御さんたちが常に付いている状態を確認できないというのは懸念もありますので、オープンして4月からの体制をよく検討していただいて、本当に楽しい遊び場に展開できることを願っています。
- 前回会議の時に、「椅子が足りない」「入口が狭い」との声があったと思いますが、このパース図のまま設置されるのですか。
- 整備事業者にはそういった細かい部分については伝えておりましたので、パース図そのままというわけではありません。

また、先ほどきょうだい児の利用について話が出たと思いますが、きょうだい児を遊び場か

ら排除するものではありません。親御さんの見守りのもと、ルールを守って利用していただきたいと思います。

ご提案いただいた図書につきましても、現在市で「本のまちプロジェクト」という取組みを行っておりますので、遊び場の中でもそういった本を利用したブースを設けていきたいと考えております。

- 何点かあります。まず遊び場に管理人等は配置しないということでしたが、意見としては、やはり遊びの指導員のような形で、遊び自体を見守るだけでなく、遊びによる気づき等を教えるような人は是非とも欲しいなと思います。

それから保護者の皆さんが見守るのであれば、座ってしっかりお子さんを見守れるような場所があるべきだと思います。

また、勝手に遊んで、勝手に帰ってというのは、いろいろな面でトラブルの元になるのではないかと思います。どこの何歳のお子さんが何人ここを利用しているのかを把握する手段を取る予定はあるのかという所を聞きたいです。

最後に、今後「こういう遊具が欲しい」などの皆さんの声をどのように反映されるのかということ聞きたいと思います。

- 遊びの指導員については前回会議でも意見をいただいております。その点については、まずは子育て支援センターや子育て支援の活動を行っている団体さん等と協力してやっていきたいと思っております。そのうえで、管理人又は遊びの指導員等の配置については今後検討させていただきたいと思っております。

保護者の見守り場所についてですが、クッション遊具などは保護者が座って見守れる場所となっております。

- クッション遊具に保護者が座って遊んでいる子どもたちの邪魔になるのでは。座ってもよいのですか。

- パース図の脇の方、ここがクッションベンチになっています。ここで座って見守りができます。遊具については、大きいもの以外は動かせるものが多いので、左側のエリアはスペースを取ったりもできます。

補足ですが、漁港エリアの側にある壁は撤去し、通路からオープンに見られる形になります。ただ、飛び出し防止のために腰高の柵等は用意したいと思います。

遊具に関して利用者の声をどう反映させるかという点についてですが、遊具には耐用年数がありますので、交換するタイミング等で、子ども向け又は保護者を含めてアンケートを取るなどして、皆さんが使いやすいような、使いたいと思えるような遊具を取り入れていきたいと思っております。

また、利用者把握については、正直な所そこまで考えが至っておりませんでした。今後の課題とさせていただきます。

- 靴を脱いで利用すると思いますが、靴を入れる場所がありますか。またちょっとした荷物置き場、ロッカーのようなものは設置されているのでしょうか。

- 下駄箱は設置しています。ロッカーについては遊び場内には設置していませんので、イオンタウン内のロッカー等を活用していただく形になると思います。

- 大船渡に遊びに行ったときに、こういう広場があってそこで子どもを遊ばせたのですが、そこにはロッカーがあって荷物を置けるようになっていました。保護者も見守り中にジャンパーやカバンを持っているよりは、置いて見守りができると良いと思います。
- ロッカーの配置については整備事業者さんと確認を取りながら検討していきたいと思います。
- この遊び場内のルールについて他に何を出す予定ですか。例えば、遊んでいて喉がかわいたとき、遊び場の中で飲食は可能ですか。
- 水分補給程度であれば良いと思いますが、食べ物を食べるのは基本的にはご遠慮願います。
- 見守りのルールの中にそのような項目が含まれるというわけですね。
- ルールについては、場内の分かりやすい場所に掲示させていただきます。
- 英語の表示もあった方が良いと思います。日本人だけが利用するわけではないでしょうから。
- 室内の遊び場については楽しみにしています。
子どもと外の公園をよく利用するのですが、どの公園も鹿のフンでいっぱいです。こちらについては何か対策は取られているのでしょうか。
- 公園愛護会の方々が掃除してくださっている公園もありますが、なかなか追いつかないというのが現状です。担当課は別ですが、市も課題として認識しています。
- 遊び場の方では運営方針の中に子育て支援センターとの連携があります。当園でも子育て支援センターを運営していますので、一緒に何ができるかを考えています。また、管理人の配置についてはやはり必要ではないかと思います。
鹿のフンについて、当園でも公園に遊びに行くときはホウキとチリトリを持って行って必死で片付けています。どこの公園に行ってもそうなので、どうにかならないかと思います。
- 当園では子育てサロンもやっているのですが、子ども同士のトラブルやケガを考えると、遊び場については管理人がいた方が良いのではと思います。
また、資料になかったのですが、遊び場の清掃は誰が行うのでしょうか。
- 清掃に関してはイオンタウンさんに協力いただきまして、毎日の遊具の消毒と清掃を実施します。
- 遊び場での子育て支援センターとの連携については、子育て支援センター定期連絡会でも話を伺っていました。協力する上でどういう活動をするか今悩んでいるところなので、相談しながらやっていけたらと思います。よろしく願いいたします。
- 児童館は0歳から18歳の子ども達たちが利用するのですが、やはり最初のルールがきちんとしていけばスムーズに行くと感じます。最初のスタート時点で子どもたちへルールを周知すること、保護者の皆さんが協力してくださることが必要です。
あと福成委員が読み聞かせの話をしていましたが、イベント的なもので大人が必ず関わっている空間があればいいのかなと感じました。ボランティアで読み聞かせをしている方達がたくさんいらっしゃるのでも、そういう団体さんにも声をかけてできないかなと思います。
遊びに来る楽しみを用意するのも良いと思います。例えば、掲示板のようなものにシールを貼って、ここの地区からこのぐらい来ていると一目で分かる場所があればいいのかなと。子

どもが楽しめるものも取り入れつつ、運営する方も来場者数が分かるシステムができればもっと楽しいかなと思います。

いろいろな子ども、大人、年配の方たちを巻き込んで、この広場を盛り上げていければと、お話を聞いていて思いました。

○お手洗いに設置しているような SOS ボタンがあれば良いと思いました。安全な大人だけが周りにいるわけではないというのも考えて、子どもが「怖い」と思ったときにすぐ押せる SOS ボタンがあれば安心かと思います。

○天候に左右されない遊び場ができるというのはとっても良いなと思っています。

やっぱりルール of 徹底が大事なんじゃないかなと思います。釜石はシーウェイブスの選手の家族もいて、海外ルーツの家族もよく見かけるので、その方たちにも分かりやすく表示をして、気持ちよく安全に利用できると良いと思います。

あと、こういう立派な施設ができれば、イベントを計画して、そこにいろいろな人が関わって、子育てを一緒に協力してくれるような、そういうサポーター的な人たちが増えていくことも一緒に目指していければいいと思います。

○もし自分の子どもが小さければ遊ばせたいと思う魅力的な遊具がいっぱいだと思います。うちの場合はきょうだいの年齢が離れていたんで、一番下の子をここで遊ばせたくても、一番上の子は元気すぎて入れられない。入っても良いですよと言われても、気が引けて遊べないというのが結構あったので、やっぱりそこもバランスかなと思います。

○先ほども出た話だと思います。その子たちも遊べるコーナーがあったり、待っている場所があったり、きょうだいみんなで行ってみんなに関われる環境についてですね。

やっぱり安心して利用できる安全な施設であってほしい。ここにいらっしゃる皆さんそういう気持ちで楽しみにしていると思います。

まだまだ課題はこれからたくさんありそうです。オープンした後も、皆さんからご意見をいただきながら、楽しい施設になることを期待したいと思います。本日はご協力本当にありがとうございました。